

永久歯の生えない子ども10人に1人。 虫歯や歯周病などの原因にも。



日本小児歯科学会が「永久歯のない子ども」を調査したところ、7歳以上の子ども15544人のうち、1割以上の1568人に永久歯の先天欠如があることが分かった。

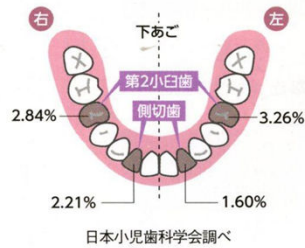
永久歯の先天欠如は、1、2本の場合が多い。歯が生えないということは歯の芽である「歯胚」がないということ。乳歯から永久歯に生え代わる頃、歯胚の発育段階の開始期から増殖期に何らかの異常があると歯が形成されなくなると言われている。しかし明確な原因が分からないため、予防できないのが現状だ。

永久歯が全部生えそろうわないと、かみ合わせの異常など、さ

まざまな悪影響が生じる可能性が高い。かみ合わせを正常にするのに、子どものうちに歯並びを整えたり、大人になってインプラント治療をしたりするなど、専門治療が必要になる。担当した鹿児島大学の山崎要一教授は「治療の多くは自費診療が必要となつて、治療ができる専門知識をもった歯科医師も少ない」と話す。

現代人の健康を守るためにも、乳幼児期からの歯と口の健康への意識が不可欠だと言えよう。歯が欠如しているとかみ合わせが悪くなり、虫歯や歯周病などの原因となり易いことを警鐘していきたい。

欠如が多い歯の位置と欠如率



鹿児島大学大学院
医歯学総合研究科
小児歯科学分野
山崎要一教授

もり歯科・矯正歯科 <http://www.2433718.com> No16

